

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度(令和元年度)
1 スポーツ・運動を通した市民健康活動の推進					
(1) 市民エンジョイ・ウォーキング事業					
① 双方向運動サポートシステムの構築・運用	▽業者調査及び双方向サポートシステムのイメージ構築	▽携帯端末を使ったシステムを開発できる業者を調査(NINOシステム・電通・Finc・コガソフトウェア等) ▽ウォーキングしている人への調査研究 ▽先進地視察(大阪府高槻市・京都府京都市)	▽昨年度に実施した調査研究をもとに宗像市での双方向サポートシステムについて検討	▽費用対効果も含め、継続し調査・検討を実施した結果、実施に課題が多いため未実施	
② 市民ウォーキング大会の開催やコース整備	▽JRウォーキングとの共催を検討	▽人づくりまちづくり補助金を活用し、指導者の育成や市民向けの体験会等を実施する「ノルディックウォーキングを広める会」の支援及び大会開催を検討	▽前年度に引き続き、人づくりまちづくり補助金の交付を受ける「ノルディックウォーキングを広める会」に加え、今年度より新たに補助金の交付を受ける「むなかたノルディックウォーキングクラブ」の活動を支援し、体験会や大会の開催を検討	▽「ノルディックウォーキングを広める会」及び「むなかたノルディックウォーキングクラブ」の活動を引き続き支援 ▽人づくりまちづくり補助金を活用して育成した指導者を活用し、ノルディックウォーキングのプログラムを実施 ▽商工会青年部と連携したウォーキング大会「宗像ウォーキング」を継続実施(11月)	▽ノルディックウォーキングのプログラムを実施予定 ▽商工会青年部と連携したウォーキング大会「宗像ウォーキング」を継続実施(11月)予定
(2) モデルコミュニティ健康スポーツdeハッピー事業	▽健康スポーツ検討会議開催 2回(部会6回)開催 ※日赤看護大にてプロジェクトチームを編成 ▽赤間地区コミュニティをモデル地区とし、赤間自治会・陵厳寺自治会を選出 9月初旬に約80人説明会参加、ウォーキングマップ作成 9月中旬に測定会、ウォーキングマップ確定 10月から開始 12月に中間測定、3月に最終測定及び評価	6月:赤間地区コミュニティにて参加者等への報告会を実施 10月:参加者が興味を持つような「ゆがみ測定」等を追加した体力測定を実施 事業の中で運動の動機づけのために白地図を配布し、運動した日に一国を色塗りする「世界一周健康の旅」を実施。一定の国数を色塗りできれば賞品をプレゼント	▽報告会の意見を基に各地区へ広めるため、費用対効果を考慮した実施方法を検討 ▽平成27,28年の事業の成果についての検証を実施	▽検討の結果、参加者の負担等の課題が多く未実施	
(3) 市全域を対象とした総合型地域スポーツクラブの設立・運営	▽南の郷クラブにて市内全域からの参加者を受け付ける	▽南の郷クラブにて市内全域を対象としたジュニアのバドミントン教室やソフトテニス教室を開設。ジュニア会員を中心に会員数が大幅に増大	▽新規の教室開催の検討やイベントの開催を通じ、更なる会員数の増大に向けて取り組む南の郷クラブの活動を支援	▽南の郷クラブの活動を支援及び南郷コミュニティの編入へ向けての支援	▽南郷地区コミュニティに編入した南の郷クラブの活動を支援。
2 スポーツ・運動を通したコミュニティ活動の活発化					
(1) コミュニティ・スポーツ交流事業	▽検討中(次年度に向けモデルコミュニティ選出、予算確保)	▽大島地区コミュニティ・玄海地区コミュニティ・東郷地区コミュニティの3地区をモデルコミュニティとして、各コミュニティ選出のスポーツ推進委員が中心となり、各コミュニティ内の住民を対象としてそれぞれニュースポーツ大会等のスポーツイベントを実施	▽日の里地区コミュニティ、赤間西地区コミュニティ、池野地区コミュニティの3地区をモデルコミュニティとして、各コミュニティ選出のスポーツ推進委員が中心となり、各コミュニティ内の住民を対象としてスポーツイベント等を実施	▽自由ヶ丘地区、南郷地区にて各コミュニティ選出のスポーツ推進委員が中心となり、各コミュニティ内の住民を対象としてスポーツイベント等を実施	▽吉武地区、赤間地区、河東地区、岬地区にて各コミュニティ選出のスポーツ推進委員が中心となり、各コミュニティ内の住民を対象としてスポーツイベントを実施予定
(2) コミュニティ・スポーツ交流事業実行体制の整備及びサポート	▽スポーツ推進委員を2人増やし、全体で22人 ▽各コミュニティからの選出委員を増員し、健康福祉部会や公民館部会などに配置	▽H29年度からの各地区2人体制に向けて、スポーツ推進委員の人材発掘を行う	▽市推薦枠を撤廃し、全員コミュニティからの推薦により選出。定員25人(各地区2人、赤間地区は3人)に対し、23人(南郷地区、大島地区が1人)。 ▽任期はH29年5月1日からH31年4月30日までの2年間	▽スポーツ推進委員の2年の任期が終了するため、来期候補者の選定及び各地区コミュニティ運営協議会に対し推薦を依頼	▽全員コミュニティからの推薦により選出。定員25人(各地区2人、赤間地区は3人)に対し、23人(南郷地区、大島地区が1人)。 ▽任期はR1年5月1日からR3年4月30日までの2年間
(3) 市主催のコミュニティ対抗スポーツ大会の開催	▽各地区の公民館活動担当部会長で構成する実行委員会が実施するグラウンドゴルフ大会とお手玉大会を支援	▽各地区の公民館活動担当部会長で構成する実行委員会を中心として実施したグラウンドゴルフ大会とお手玉大会を支援	▽各地区の公民館活動担当部会長で構成する実行委員会を中心として実施したグラウンドゴルフ大会とお手玉大会を支援 ▽コミュニティ対抗の新たな種目のスポーツ大会などの実施について協議	▽各地区の公民館活動担当部会長で構成する実行委員会を中心として実施したグラウンドゴルフ大会とお手玉大会を支援 ▽コミュニティ対抗の新たな種目のスポーツ大会の実施について協議を行い、次年度もグラウンドゴルフとお手玉の2種目を実施することに決定	▽各地区の公民館活動担当部会長で構成する実行委員会を中心として実施のグラウンドゴルフ大会とお手玉大会を支援

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度(令和元年度)
3 子どものスポーツ機会の充実					
(1)スマイルキッズプログラム					
①幼児期を対象とした支援					
ア 幼児をもつ保護者向け「親子運動体験会」の開催	未着手	▽6月：日の里学園PTAと日本トップリーグ連携機構とボールを使ったレクリエーションである「ボールゲームフェスタ」を実施 ▽3月：浄徳寺幼稚園にて、コーディネーショントレーニングを用いた親子トレーニングを実施	▽3月：東海大学付属自由ヶ丘幼稚園にて、親子スポーツ教室を実施（講師：MIKIファニット）	▽12月：宗像市スポーツサポートセンターにて、親子リズム遊び教室を実施。（講師：福岡教育大学 本多准教授）	▽宗像市スポーツサポートセンターにて、親子を対象としたスポーツイベントを企画、実施予定
イ コーディネーショントレーニング体験会の開催	未着手	▽社会体育や部活動の指導者向けのコーディネーショントレーニング講習を実施。 ▽浄徳寺幼稚園にて、コーディネーショントレーニングを用いた親子トレーニングを実施	▽3月：東海大学付属自由ヶ丘幼稚園にて、コーディネーショントレーニングを用いた親子スポーツ教室を実施。（講師：MIKIファニット）	▽12月：宗像市スポーツサポートセンターにて、親子リズム遊び教室を実施。（講師：福岡教育大学 本多准教授）	▽宗像市スポーツサポートセンターにて、親子を対象としたスポーツイベントを企画、実施予定
②小学生の体力向上支援					
ア 福岡教育大学連携・小学校体育支援調査研究事業	▽福岡教育大学本多准教授と連携し、自由ヶ丘南小2年生を対象に投動作を中心とした体力向上プログラム作成のためモデル的に実施	▽前年度に引き続き、本多准教授と連携し、自由ヶ丘南小2年生を対象に教員が実際に指導できるような投力向上プログラムを構築 ▽教職員向けの投動作の講習を実施	▽前年度実施した投力向上プログラムを市内に拡大するため、DVDの配布及び校長会等にて事業結果の報告 ▽自由ヶ丘南小学校5年生を対象にICTを使った体づくり運動の調査研究を実施	▽日の里学園の2年生を対象に、「リズム運動を活用した児童の体力・運動能力向上プログラム」を実施し、体力・運動能力向上に向けた調査・研究を実施	▽ゴールデンエイジ(中・高学年)を対象に、「リズム運動を活用した児童の体力・運動能力向上プログラム」を実施し、体力・運動能力向上に向けた調査・研究を実施予定
イ コーディネーショントレーニング講座の開催	未着手	▽高学年を対象としたチャレンジMUNAKATAにおいて、コーディネーショントレーニングを用いた多種目競技体験プログラムを実施	▽小学生(低学年・高学年)を対象としたチャレンジMUNAKATAにおいて、コーディネーション能力の向上を目指した多種目競技体験プログラムを実施	▽3～6年生を対象としたチャレンジMUNAKATAにおいて、コーディネーション能力の向上を目指した多種目競技体験プログラムを実施	▽3～6年生を対象としたトライMUNAKATAにおいて、コーディネーション能力の向上を目指した多種目競技体験プログラムを実施予定
ウ 民間のスポーツ指導者等の派遣	▽サニックススポーツ振興財団職員で元サニックスブルース選手による市内全小学4年生を対象にしたタグラグビー授業の継続実施(平成15年度から実施)	▽タグラグビーの指導を継続 ▽5～7月サニックスブルース選手が吉武地区コミュニティ寺子屋の児童を対象に放課後スポーツ体験教室(ラグビー教室)を実施。(4回) ▽トヨタ自動車九州陸上競技部の選手が東郷小学校において体育科(持久走)授業の指導を実施。 ▽塚原体操教室によるマット運動の指導を東郷小学校及び、教員への講座として実施	▽タグラグビーの指導を継続 ▽5月：民間陸上クラブ(アローザル)による「運動前に早くなる！かけっこ教室」を実施 ▽6～7月：サニックスブルース選手が吉武地区コミュニティ寺子屋の児童を対象に放課後スポーツ体験教室(ラグビー教室)を実施。(4回) ▽6～12月：小学3年生の児童を対象に塚原体操教室によるマット運動の指導を実施(全6校) ▽9月：民間陸上クラブ(アローザル)による陸上の指導を吉武小学校にて実施	▽タグラグビーの指導を継続 ▽5～9月：民間陸上クラブ(アローザル)による陸上の指導を実施(全4校) ▽6月：サニックスブルース選手が吉武地区コミュニティ寺子屋の児童を対象に放課後スポーツ体験教室(ラグビー教室)を実施(4回) ▽6～12月：小学3年生の児童を対象に塚原体操教室によるマット運動の指導を実施(全9校)	▽タグラグビーの指導を継続予定。 ▽4～11月：民間陸上クラブ(アローザル)による陸上の指導を実施予定(全10校) ▽5月：サニックスブルース選手が吉武地区コミュニティ寺子屋の児童を対象に放課後スポーツ体験教室(ラグビー教室)を実施。 ▽5～1月：小学3年生の児童を対象に塚原体操教室によるマット運動の指導を実施予定(全10校)
エ 小学生体力テストの支援	▽4月～：7校の体力テストにスポーツ推進委員を派遣(15日間104人派遣)	▽6月：5校の体力テストにスポーツ推進委員を派遣(14日間71人派遣) ▽測定精度の向上を図りスポーツ推進委員の事前研修を実施	▽5～6月：7校の体力テストにスポーツ推進委員を派遣(9日間82人派遣) ▽測定精度の向上を図りスポーツ推進委員の事前研修を実施 ▽アクション福岡にデータ分析を依頼し、個人へ測定結果をフィードバック	▽5～6月：7校の体力テストにスポーツ推進委員を派遣(10日間83人派遣) ▽測定精度の向上を図るため、スポーツ推進委員の事前研修を実施	▽5～6月：7校の体力テストにスポーツ推進委員を派遣(14日間122人派遣)
オ 海洋性スポーツのプログラムの開発・実施	4月：勝浦浜海洋スポーツセンターオープン 4月：海洋性スポーツ体験授業募集 6月：玄海小・玄海東小・地島小5年生(50人)実施 7月：日の里西小5年生(49人)実施 10月：自由ヶ丘南小5年生(63人)実施 合計：162人に指導	7月：日の里西小5年生(54人)実施 9月：赤間西小5年生(72人)実施 自由ヶ丘南小5年生(66人)雨天中止 10月：東郷小5年生(93人)雨天中止 玄海小・玄海東小・地島小5年生(43人)実施 合計：169人に指導	5月：吉武小5年生(20人)実施 7月：自由ヶ丘南小6年生(72人)実施 日の里西小5年生(53人)実施 9月：赤間西小5年生(82人)実施 自由ヶ丘南小5年生(77人)実施 10月：東郷小5年生(110人)中止 南郷小5年生(36人)中止 玄海小・玄海東小・地島小5年生(39人)中止 合計：304人に指導	5月：吉武小5年生(22人)実施 6月：東郷小5年生(101人)実施 玄海小・玄海東小・地島小6年生(39人)雨天中止 7月：日の里西小5年生(54人)実施 9月：赤間西小5年生(64人)実施 10月：南郷小5年生(32人)実施 玄海小・玄海東小・地島小5年生(30人)実施 合計：303人に指導	5月：吉武小5年生(21人)実施 6月：東郷小5年生(101人)実施 8月：日の里西小5年生(68人)実施予定 9月：南郷小5年生(34人)実施予定 赤間西小5年生(89人)実施予定 自由ヶ丘南小5年生(62人)実施予定 10月：玄海小・玄海東小・地島小5年生(40人)実施予定 合計：415人に指導予定
③中学校体育授業(武道)及び中学校運動部活動の支援					
ア 中学校体育授業(武道)への指導者の派遣	▽教育政策課における指導者派遣の調査	▽かとう学園にサニックスブルースのコンディショニング&ストレングスコーチを派遣	未実施	未実施	未実施
イ 中学校運動部活動への指導者の派遣	▽教育政策課における指導者派遣の調査	▽かとう学園にサニックスブルースのコンディショニング&ストレングスコーチを派遣し、女子バレー部、女子ソフトテニス部、サッカー部に対しコンディショニングトレーニングを実施	▽管理栄養師等を登録し、要望があった学校に派遣するスポーツ活動指導者派遣事業を検討 ▽かとう学園の希望する部活動(サッカー部、女子バレー部、女子ソフトテニス部)に講師を派遣し、SAQ(スピード、アジリティ、クイックネス)トレーニングやコンディショニングトレーニングなどの指導を実施	▽市内中学校のうち希望する部活動に講師を派遣し、SAQ(スピード、アジリティ、クイックネス)トレーニングやコンディショニングトレーニングなどの指導を実施(夏休み：河東中。冬休み：河東中、日の里中、城山中、大島学園後期課程)	▽市内中学校のうち希望する部活動に講師を派遣し、SAQ(スピード、アジリティ、クイックネス)トレーニングやコンディショニングトレーニングなどの指導を実施予定(夏季休暇、冬期休暇)

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度(令和元年度)
④社会体育等における活動の支援						
ア トップアスリートの育成支援	▽8月:福岡県タレント発掘事業(会場:宗像市民体育館) ▽勝浦浜海洋センターにてオリンピック選手によるOPヨット教室の実施 ▽全国大会等参加費用補助制度実施	▽福岡県タレント発掘事業への1次エントリーの推奨 ▽体力テストのデータを提出し個表をフィードバック ▽全国大会等参加費用補助制度実施 ▽6月:ボールゲームフェスタ(会場:日の里西小・日の里中)の実施 ▽7月:バドミントン育成教室を南の郷クラブにて実施	▽福岡県タレント発掘事業への1次エントリーの推奨 ▽体力テストのデータを提出し個表をフィードバック ▽バドミントン育成教室及びソフトテニス育成教室を南の郷クラブにて実施 ▽全国大会等参加費用補助制度実施	▽福岡県タレント発掘事業への1次エントリーの推奨 ▽体力テストのデータを提出し個表をフィードバック ▽バドミントン育成教室及びソフトテニス育成教室を南の郷クラブにて実施 ▽全国大会等参加費用補助制度実施	▽8月:福岡県タレント発掘事業測定会開催予定(会場:宗像ユリックス) ▽バドミントン育成教室及びソフトテニス育成教室を南の郷クラブにて実施 ▽全国大会等参加費用補助制度実施	
イ むなかた夢大使派遣事業の実施	▽7月:日本サッカー協会(JFA)と連携し、夢の教室を実施。南郷小5年生を対象に元Jリーガー高田保則氏を夢先生として派遣、子どもたちに自分の夢に向かって頑張ることの大切さを伝える授業を実施		▽7月:障がい者バドミントン代表選考合宿に合わせて、日本代表選手を城山中学校に派遣。パリンピック啓発を兼ねた体験交流会を実施。 ▽10月:ラグビー日本代表キャンプに合わせて、前日本代表の畠山健介氏による講演を日の里中学校で実施。	▽7月:障がい者バドミントン代表選考合宿に合わせて、日本代表選手を中央中学校に派遣。パリンピック啓発を兼ねた体験交流会を実施。 ▽2月:河東中学校全校生徒へ宗像サニックスブルースの選手による講演会を実施。	▽7月:人権講演会に障がい者バドミントン日本代表選手を招いてパリンピック啓発を兼ねた体験交流会を実施予定。中学校への派遣についても継続実施。 ▽宗像サニックスブルースの選手による中学校での講演会を引き続き実施予定。	
ウ 複数種目ができる環境の調査研究	未着手	▽先進地視察(福岡県・広島県・福岡市・広島市) 12月:高学年を対象とした多種目競技体験プログラム「チャレンジMUNAKATA」を実施(バスケットボール・体操・ホッケー・フェンシング・アーチェリー・ラグビー)	▽高学年・低学年を対象とした多種目競技体験プログラム「チャレンジMUNAKATA」を実施 高学年(前期:ハンドボール・ゴルフ・体操・ラグビー・ダンス・陸上)(後期:剣道・ビームライフル・フェンシング・陸上・ホッケー・ハンドボール) 低学年(フィジカルトレーニング・体操・ラグビー・ダンス・陸上)	▽3～6年を対象とした多種目体験プログラム「チャレンジMUNAKATA」を年2回実施 (前期:ラグビー・フットサル・体操・ホッケー・バスケットボール・陸上) (後期:フェンシング・コーディネーション・ハンドボール・陸上・ビームライフル・バドミントン)	▽3～6年を対象とした多種目体験プログラム「トライMUNAKATA」を年2回実施予定 (前期:ラグビー・フットサル、陸上、セーリング、ホッケー、ボウリング) (後期:未定)	
(2)スポーツ指導者体制の整備						
①スポーツ指導者育成及び活動支援						
ア コーディネーショントレーニングの導入	一部検討	▽社会体育や部活動の指導者向けコーディネーショントレーニング講習を実施	▽前年度に引き続き、実施に向けて検討	▽社会体育(競技団体)のコーチングクリニック等に指導者を派遣し、コーディネーションの定着を図る。	▽社会体育(競技団体)のコーチングクリニック等に指導者を派遣し、コーディネーションの定着を図る。	
イ 各種講習会・セミナーの開催	未着手	▽かとう学園にてサニックスブルースのコンディショニング&ストレングスコーチを派遣	▽管理栄養師などを登録し、要望があった学校に派遣するスポーツ活動指導者派遣事業を検討 ▽社会体育や部活動の指導者向けにメンタルトレーニング講習を実施	▽管理栄養師等を要望があった学校に派遣するスポーツ活動指導者派遣事業を実施 ▽8月:社会体育や部活動の指導者向けに「ベッブーク」講演会を実施	▽管理栄養師等を要望があった学校に派遣するスポーツ活動指導者派遣事業を実施 ▽社会体育や部活動の指導者向けに「リズムジャンプ」講習会を実施予定	
②異種目間スポーツ指導者のネットワーク化	未着手	▽体協により指導者のネットワーク化を検討	▽体協により指導者の登録を実施	▽講習会等を通じ異種目の指導者間の情報交換を実施	▽講習会等を通じ異種目の指導者間の情報交換を実施	
③小中一貫教育による体力向上に向けた教職員の共通理解	▽体力向上総合プロジェクト作成中(教育委員会)	▽運動能力評価表をもとに調査を実施(教育委員会)	▽前年度に引き続き、調査を実施し、調査結果を「1校1取組」運動へ反映する等検討(教育委員会)	▽アクション福岡の運動能力評価表を活用し、校長会・保健体育研究会等で学園間の共通理解を図る	▽アクション福岡の運動能力評価表を活用し、校長会・保健体育研究会等で学園間の共通理解を図る	

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度(令和元年度)
4 若者のスポーツ参加機会の拡充や高齢者の体力づくり支援等のライフステージに応じたスポーツ活動の推進					
(1) ライフステージに応じたスポーツ・運動プログラムの開発・実施					
①親子や家族がともに参加できるスポーツ・運動プログラム	未着手	▽6月：日の里学園PTAと日本トップリーグ連携機構とボールを使ったレクリエーションである「ボールゲームフェスタ」を実施 ▽3月：浄徳寺幼稚園にて、コーディネーショントレーニングを用いた親子トレーニングを実施	▽11月：睡眠を切り口とした運動実践率向上を目指す事業について日本スポーツ振興センターと協働で実施	▽10～11月睡眠を切り口とした運動実践率向上を目指す事業について日本スポーツ振興センターと協働で実施 ▽12月：スポーツサポートセンターにて、「親子リズム遊び教室」を実施(講師：福岡教育大学本多准教授)	▽宗像市スポーツサポートセンターにて、親子を対象としたスポーツイベントを企画、実施予定
②20代、30代が参加できるスポーツ・運動プログラム	未着手	▽双方向サポートシステムの導入を検討	▽11月：睡眠を切り口とした運動実践率向上を目指す事業について日本スポーツ振興センターと協働し、実施。	▽10～11月睡眠を切り口とした運動実践率向上を目指す事業について日本スポーツ振興センターと協働で実施	▽健康課と連携し、地区の行事に合わせて「健康マルシェ」にて出張測定会を開催し、対象年代への働きかけを実施予定 (吉武、赤間、自由ヶ丘、玄海)
③高齢者を対象にしたグラウンド・ゴルフ大会の拡大	▽3月：グローバルアリーナと共催にて市長杯グラウンド・ゴルフ大会を開催	▽3月：グローバルアリーナと共催にて市長杯グラウンド・ゴルフ大会を開催	▽3月：グローバルアリーナと共催にて市長杯グラウンド・ゴルフ大会を開催	▽3月：グローバルアリーナと共催にて市長杯グラウンド・ゴルフ大会を開催	▽3月：グローバルアリーナと共催にて市長杯グラウンド・ゴルフ大会を開催予定
④全世代を対象にしたウォーキング大会等の開催	▽5月：宗像大島・潮騒とメロディーウォークを開催(約300人参加) ▽11月：南の郷クラブによる「南郷ぐるっと健やかウォーク」の開催支援	▽11月：南の郷クラブによる「南郷ぐるっと健やかウォーク」の開催支援	▽11月：南の郷クラブによる「南郷ぐるっと健やかウォーク」の開催支援 ▽3月：商工会青年部主催で「第1回むなかたウォーキングを実施(参加者239名、申込281名) ▽3月：宗像・北部糟屋連携プロジェクトの一環による宗像・福津コースでのウォーキングイベントを企画するも荒天中止	▽11月：南の郷クラブによる「南郷ぐるっと健やかウォーク」の開催支援 ▽11月：商工会青年部主催で「第2回むなかたウォーキング」を実施(募集300名)	▽11月：南の郷クラブによる「南郷ぐるっと健やかウォーク」の開催支援予定 ▽11月：商工会青年部主催で「第3回むなかたウォーキング」を実施予定
(2) コミュニティを単位とする総合型地域スポーツクラブの活動の支援					
	▽南郷地区総合型地域スポーツクラブ「南の郷クラブ」のtoto自立支援事業助成を支援 会員数 135人(大人85 子ども50) 教室数 10	●南の郷クラブ 新規教室(ピラティス、Jr.バドミントン育成教室、Jr.ソフトテニス)開講 会員数 213人(大人113人 子ども100人) 教室数 12	●南の郷クラブ 新規教室(ヨガ教室)を開講 正会員の会費を1,000円から2,000円に増額。 会員数 149人(大人67人 子ども82人) 教室数 12	●南の郷クラブ ジュニア会員の会費を500円から1,000円に増額 会員数 125人(大人53人 子ども79人) 教室数 10	●南の郷クラブ コミュニティに編入し活動を継続 正会員の会費を教室単位とし、教室1増につき1,000円 会員数(5/15現在) 118人(大人48人、子ども70人) 教室数10
(3)障がい者のスポーツ・運動活動の支援					
	▽6月：少年自然の家「玄海の家」と連携し、視覚障がい児の海洋性スポーツ体験を実施	▽6月：少年自然の家「玄海の家」と連携し、視覚障がい児の海洋性スポーツ体験を実施 ▽7月：パラバドミントン日本代表選考合宿の誘致に伴い、パラバドミントン体験・交流会を開催。参加市民80人。 ▽12月：ブラインドサッカー日韓親善試合を開催。体験会を実施 ▽2月：パラバドミントン日韓合同合宿の誘致・受入。東海大学福岡短期大学、吉武小学校との体験交流会を実施	▽6月：デフサッカー日韓親善試合 告知(市民への観戦呼びかけ) ▽7月：パラバドミントン日本代表選考合宿の誘致・受入 城山中学校での体験交流会を実施 ▽8～9月：ポッチャの普及員を招聘しての体験会実施 ▽社会福祉協議会・障がい者団体等に現場レベルでの障がい者スポーツのニーズを聞き取り調査 ▽はまゆうワークセンターにて「笑いヨガプログラム」モデル事業実施	▽7月：パラバドミントン日本代表選考合宿の誘致・受入と中央中学校での体験交流会を実施 ▽8月：日の里まつりにてポッチャ体験実施 ▽10月：社会福祉協議会と協働でピアサポート事業(ふうせんバレー、ニュースポーツ体験)を実施 ▽2～3月：市内の障がい者施設に指導者を派遣した運動プログラムの開催(4施設)	▽7月：パラバドミントン日本代表選考合宿の誘致・受入と中央中学校での体験交流会を実施 ▽8月：日の里まつりにてポッチャ体験実施予定 ▽10月：社会福祉協議会と協働でピアサポート事業(ポッチャ)を実施予定 ▽市内の障がい者施設に指導者を派遣した運動プログラムの開催予定

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度(令和元年度)
5 住民が主体的に参画する地域スポーツ環境の整備					
(1) スポーツ資産の有効活用					
①スポーツ・サポートセンター(仮称)の設立	▽先進地(島根県出雲市、香川県高松市)視察	▽サポートセンターの設計 ▽宗像市サポートセンターワーキングチームによる会議実施	▽サポートセンター増築 ▽庁内関係各課による会議	▽サポートセンター開設 ▽日常的なカウンセリング業務、定例教室、測定会などの各種事業を実施。	▽日常的なカウンセリング業務、定例教室、測定会などの各種事業を実施予定 ▽宗寿園での月に1度の運動教室を8月から実施予定
②市体育協会の役割の多面化	▽事務局と協議開始	▽サポートセンター設計について協議 ▽定期的な体育協会との連絡協議会の実施	▽サポートセンター増築について協議 ▽定期的な体育協会との連絡協議会の実施予定 ▽スポーツ指導者の登録	▽サポートセンター開設に伴う事業連携 ▽転倒予防教室、チャレンジMUNAKATA等の各種教室の開催 ▽スポーツ指導者の登録(スポーツリーダーバンク)	▽サポートセンター運営における事業連携の実施
③市スポーツ推進委員の組織の見直し	▽20人から22人に定数増 ▽市推薦枠をコミュニティ推薦枠に変更し、人口8,000人以上のコミュニティには2人以上のスポーツ推進委員を配置	▽H29年度に各地区2人にするため、スポーツ推進委員候補者の人材発掘	▽22人から25人に定数増 ▽市推薦枠を撤廃し、原則各コミュニティに2人(赤間地区は3人)のスポーツ推進委員を配置。7/1現在23人(南郷地区、大島地区は1人のみのため)	▽定数25人 ▽各コミュニティに2人(赤間地区は3人)のスポーツ推進委員を配置。現在23人(任期2年の2年目)	▽定数25人 ▽各コミュニティに2人(赤間地区は3人)のスポーツ推進委員を配置。現在23人(任期2年の1年目)。
④市内を本拠地とするトップチームの活用	▽宗像サンックスブルースのファンクラブ、市民応援団の会員促進 ▽トヨタ自動車九州陸上競技部の後援会加入促進	▽宗像サンックスブルースのファンクラブ、市民応援団の会員促進(バスツアー参加者にはファンクラブ入会を案内、市民への招待券案内) ▽トヨタ自動車九州陸上競技部の後援会加入促進	▽宗像サンックスブルースのファンクラブ、市民応援団の会員促進(バスツアー参加者にはファンクラブ入会を案内、市民への招待券案内) ▽トヨタ自動車九州陸上競技部の後援会加入促進	▽宗像サンックスブルースのファンクラブ、市民応援団の会員促進(バスツアー参加者にはファンクラブ入会を案内、市民への招待券案内) ▽コミュニティのイベントへの選手・スタッフの参加(まつり・健康教室・ラグビー体験等) ▽トヨタ自動車九州陸上競技部の後援会加入促進	▽宗像サンックスブルースのファンクラブ、市民応援団の会員促進(バスツアー参加者にはファンクラブ入会を案内、市民への招待券案内) ▽コミュニティのイベントへの選手・スタッフの参加(まつり・健康教室・ラグビー体験等) ▽トヨタ自動車九州陸上競技部の後援会加入促進
(2) トップスポーツ試合の地元観戦機会の提供(観る)	▽ラグビートップキュウシュウや全日本実業団対抗女子駅伝競走大会予選会(10月)の観戦案内を市広報紙やHPにて周知	▽10・12月:グローバルアリーナで開催されるラグビートップリーグへの市民招待や観戦案内を市広報誌やHP、チラシ等にて周知(小中学生には全員配布) ▽9～1月:トップリーグ観戦バスツアー等の企画実施(福岡、山口、佐賀、長崎、計6回) ▽10月:全日本実業団対抗女子駅伝競走大会予選会の開催 ▽7月:アビスパ福岡「むなかたの日」にて市内サッカークラブ所属の子どもたちとその保護者の招待を行う。(約400人) ▽ソフトバンクホークスKIDS招待券の案内	▽10・12月:グローバルアリーナで開催されるラグビートップリーグへの市民招待や観戦案内を市広報誌やHP、チラシ等にて周知(小中学生には全員配布) ▽8～12月:トップリーグ観戦バスツアー等の企画実施(福岡、広島、山口、計6回) ▽10月:全日本実業団対抗女子駅伝競走大会予選会の開催 ▽7月:アビスパ福岡「JALサンクスマッチ」において、JALとの連携事業の一環で宗像市民の一部招待 ▽ソフトバンクホークスKIDS招待券の案内	▽10月にグローバルアリーナで開催されるラグビートップリーグへの市民招待やの観戦案内を市広報誌やHP、チラシ等にて周知(小中学生には全員配布)、団体観戦の案内。 ▽9、11月:トップリーグ観戦バスツアー等の企画実施(福岡市) ▽10月:全日本実業団対抗女子駅伝競走大会予選会の開催 ▽7月:アビスパ福岡「JALサンクスマッチ」において、JALとの連携事業の一環で宗像市民の一部招待、市PR。 ▽ソフトバンクホークスKIDS招待券の案内	▽7月及び1、3月:グローバルアリーナで開催されるラグビートップリーグへの市民招待やの観戦案内を市広報誌やHP、チラシ等にて周知(小中学生には全員配布) ▽6～7月、1～3月:トップリーグ観戦バスツアー等の企画実施(福岡市) ▽7月:日本ハンドボールリーグ公式戦がグローバルアリーナで開催 ▽10月:全日本実業団対抗女子駅伝競走大会予選会の開催 ▽ソフトバンクホークスKIDS招待券の案内
(3) スポーツボランティアの活用・充実(支える)	10月:全日本実業団対抗女子駅伝競走大会予選会 ▽コース沿線をはじめとした交通整理員やふるまい等のため、公募による市民、沿線コミュニティ、交通安全協会、市体育協会、中学・高校・大学からボランティア約500人が参加。トップクラスの選手を間近で支援	10月:全日本実業団対抗女子駅伝競走大会予選会 ▽競技サポートを超えて、国際スポーツ合宿やイベントをサポートする人材を育てる「ボランティア人材育成プログラム」を中・高生向けに実施。ブラインドサッカー・日韓親善試合等で活躍	▽10月:全日本実業団対抗女子駅伝競走大会予選会 ▽子ども育成課やグローバルアリーナと連携し、国際スポーツイベント等をサポートできる人材育成プログラムを検討。新体操、柔道の国際大会に合わせて、海外選手との交流を自ら企画するプログラムを実施	▽10月:全日本実業団対抗女子駅伝競走大会予選会のボランティア参加を継続実施。 ▽子ども育成課やグローバルアリーナと連携してグローバル人材育成プログラムを実施。	▽10月:全日本実業団対抗女子駅伝競走大会予選会のボランティア参加を継続実施。 ▽子ども育成課やグローバルアリーナと連携してグローバル人材育成プログラムを実施。
(4) トップアスリートとの交流事業の実施(交わる)	●宗像サンックスブルース 6月～:選手・スタッフによる幼稚園・保育園ラグビー訪問教室実施(幼稚園2・保育園5) 7月:地元の高校生を対象にラグビークリニックを開催 ●トヨタ自動車九州陸上競技部 7月:選手による赤間地区コミュニティ軽トラ朝市・ラジオ体操でのストレッチ指導、サイン会 11月:選手による体育科学習実技指導予定(東郷小) 3月:宗像中・長距離記録会での選手による支援 ●その他 10月:実業団駅伝イベントとして、金哲彦を講師に迎えランニング教室を実施	●宗像サンックスブルース 6月～:選手・スタッフによる幼稚園・保育園ラグビー訪問教室実施(幼稚園2・保育園7) 7月:地元の高校ラグビー部を対象にラグビークリニックを開催 7月:「夏の課外授業」の一環として、小学生対象にクラブハウスのバックヤードツアーを実施。 11月:子どもまつりにてミニラグビー教室の実施 ●トヨタ自動車九州陸上競技部 5月:グローバルアリーナリレーマラソンへの監督・選手の参加 7月:選手による赤間地区コミュニティ軽トラ朝市・ラジオ体操でのストレッチ指導、サイン会 11月:選手による体育科学習実技指導予定(東郷小) 3月:宗像中・長距離記録会での選手による支援 ●その他 6月:ボールゲームフェスタにてトップアスリートとの交流事業を行う。 7月:「むなかたの日」として、市内のサッカークラブ所属の子どもたちにアビスパ福岡の観戦招待及び選手との交流実施 10月:実業団駅伝イベントとして、松野明美氏を講師に迎えランニング教室を実施	●宗像サンックスブルース 6月～:選手・スタッフによる幼稚園・保育園ラグビー訪問教室実施(幼稚園2・保育園6) 7月:地元の高校ラグビー部を対象にラグビークリニックを開催 ●トヨタ自動車九州陸上競技部 7月:選手による赤間地区コミュニティ軽トラ朝市・ラジオ体操でのストレッチ指導、サイン会 3月:宗像中・長距離記録会での選手による支援 ●その他 6月:ラグビー日本代表宗像合宿受入、地元ラグビークラブや高校ラグビー部との交流 10月:ラグビー日本代表宗像合宿受入、前日本代表畠山健介氏の後援会を日の里中学校で実施 10月:実業団駅伝イベントとして、オリンピックの谷口浩美氏を講師にランニング教室を実施	●宗像サンックスブルース 6月～:選手・スタッフによる幼稚園・保育園ラグビー訪問教室実施(幼稚園3・保育園7) 7月:地元の高校ラグビー部を対象にラグビークリニックを開催 ●トヨタ自動車九州陸上競技部 7月:選手による赤間地区コミュニティ軽トラ朝市・ラジオ体操でのストレッチ指導、サイン会 3月:宗像中・長距離記録会での選手による支援 ●その他 10月:実業団駅伝イベントとして、オリンピックのランニング教室を実施 4月、8月、11月オリンピック・キャンプ誘致に伴う海外代表選手との市民交流を実施	●宗像サンックスブルース 6月～:選手・スタッフによる幼稚園・保育園ラグビー訪問教室実施(幼稚園3・保育園7) 7月:地元の高校ラグビー部を対象にラグビークリニックを開催 ●トヨタ自動車九州陸上競技部 7月:選手による赤間地区コミュニティ軽トラ朝市・ラジオ体操でのストレッチ指導、サイン会 3月:宗像中・長距離記録会での選手による支援 ●オリンピック・パラリンピック 4月、8月、11月オリンピック・キャンプ誘致に伴う海外代表選手との市民交流を実施 1～2月:(株)明治のプログラムを活用したオリンピックを招聘したスポーツ交流会を実施。

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度(令和元年度)
6 スポーツ観光による地域経済活性化					
(1) 全国・九州レベルのスポーツ大会の誘致					
	▽競技団体等に誘致活動を実施。	▽10月:シニア卓球大会県大会を招致	▽競技団体等に誘致活動を実施。	▽競技団体等に誘致活動を実施。	▽国体九州ブロックの開催誘致
(2)スポーツ合宿の誘致					
①合宿・研修会の誘致	▽競技団体等に誘致活動を実施。	▽7月:パラバドミントン日本代表選考合宿 ▽2月:パラバドミントン日本代表及び韓国・台湾代表合同合宿	▽6月:ラグビー日本代表宗像合宿 ▽7月:パラバドミントン日本代表選考合宿 USA JUDOキャンプ(福教大・東海大福岡 高校柔道部との交流を実施) ▽10月:ラグビー日本代表宗像合宿	▽4月:7人制ラグビー女子日本代表キャンプ受入 ▽7月:パラバドミントン日本代表選考合宿	▽9月:アジアラグビー交流フェスタ開催受入
②ラグビーワールドカップや東京オリンピック・パラリンピックキャンプ地誘致	▽2019年ラグビーワールドカップの福岡市開催や2020年東京オリンピック・パラリンピックのキャンプ地誘致活動として大規模国際大会キャンプ地誘致推進本部を設置 ▽レガシープラン及び誘致戦略方針を決定	●誘致活動(対象国・競技団体へのアプローチ)を本格化 ▽6月:ホストタウン(ブルガリア)登録 ▽10月:ブルガリア新体操協会役員の招聘・誘致交渉 → 12月回答あり。誘致に至らず。 ▽12月:ラグビーW杯公認キャンプ候補地申請 ●啓発事業の実施 ▽7月・2月:パラバドミントン体験交流会 ▽12月:ブラインドサッカー日韓親善試合 2月:ラグビートークライブ	●誘致活動 ▽オリンピックにかかるキャンプ誘致活動として、ブルガリア柔道・ロシアセブンス(7人制ラグビー)と誘致交渉し、12月に調印式を実施。ブルガリア柔道は同月にグローバルアリーナでプレキャンプを開催、選手との市民交流を実施。 ▽ラグビーW杯公認キャンプ候補地実地審査 ●啓発事業の実施 ▽4～5月:サニックスワールドラグビーユースに合わせたラグビー競技普及・大会啓発イベントの実施 ▽6月:ラグビー日本代表合宿受入に伴う大会告知・選手との交流 7月:城山中学校パラバドミントン体験交流会	●誘致活動 ▽オリンピック:4/7～23ロシアセブンス、8/16～31及び11月にブルガリア柔道のキャンプ受入。学校・コミュニティ、企業等と協働で市民交流を実施。 ▽ラグビーW杯公認キャンプ地対象外となる。 ●啓発事業 ▽4～5月:福岡県と協働でサニックスワールドラグビーユースに合わせたラグビー競技普及・大会啓発イベントの実施 ▽7月:中央中学校パラバドミントン体験交流会 ▽8月:福岡県主催のホストタウンサミットin九州・東京2020大会2年前イベント誘致	●誘致活動 ▽オリンピック:4/7～22ロシアセブンス、8/5～24及び11月にブルガリア柔道のキャンプ受入。学校・コミュニティ、商業施設等と協働で市民交流を実施。 ●啓発事業 ▽4～5月:福岡県と協働でサニックスワールドラグビーユースに合わせたラグビー競技普及・大会啓発イベントの実施 ▽6月ユリックス市民ギャラリーでパネル展開催 ▽7月:パラバドミントン体験交流会(人権講演会) ▽榊明治とオリンピックを招聘したスポーツ交流の開催
(3)宿泊を伴う広域スポーツ大会の開催					
①ウォーキング大会	未着手	▽世界遺産登録記念イベントとして大規模大会実施に向け、必要経費等の調査検討(JR等との協議)	▽3月:商工会青年部主催で「第1回むなかたウォーキングを実施(参加者239名、申込281名) ▽3月:宗像・北部糟屋連携プロジェクトの一環による宗像・福津コースでのウォーキングイベントを企画するも荒天中止 ▽宿泊を伴うグラウンドゴルフ大会の誘致	▽11月:商工会青年部主催で「第2回むなかたウォーキング」を実施(参加者445名、申込476名)	▽11月:商工会青年部主催で「第3回むなかたウォーキング」を実施予定
②グラウンド・ゴルフ大会	未着手	検討	▽日本グラウンド・ゴルフ協会が主催する九州ブロック大会の誘致を検討。	▽グローバルアリーナで開催されている市長杯の拡大を検討。	
(4)むなかたスポーツコミッション(仮称)の設立					
	▽委託業者を通じて、スポーツ業界に広い人脈を持つ人材を確保 ▽スポーツコミッション準備委員会として営業活動を開始	同左 ▽先進地視察を行い、組織設立へ向けた調査研究	同左 ▽先進地の事例を参考に宗像版の組織の在り方を検討	▽教育や観光等の関連性の高い部局を集めた庁内ワーキングを立ち上げる。	▽グローバルアリーナ等の民間施設と連携した取り組みを検討する。

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度(令和元年度)	
7 スポーツ活動の場の確保							
(1) 現行3体育館の開館日の拡大							
		▽一部検討(スポーツ推進委員研修会)	▽閉館日の体育施設をスポーツ推進委員研修会、水辺の安全教室の事業にて使用	▽閉館日の体育施設をスポーツ推進委員研修会、水辺の安全教室、健康づくりリーダー養成講座の事業にて使用	▽閉館日の体育施設をスポーツ推進委員研修会、水辺の安全教室、健康づくりリーダー養成講座の事業にて使用	▽閉館日の体育施設をスポーツ推進委員研修会、水辺の安全教室、健康づくりリーダー養成講座の事業にて使用予定	
(2) 市スポーツ施設の一元管理							
		▽利用者の利便性の向上を図るため市内体育施設、有料公園施設(ふれあいの森総合グラウンドを除く)、学校開放施設を文化スポーツ課が一元管理することにより、インターネットで予約できるシステムの構築を実施	▽4月から文化スポーツ課が一元管理し、インターネットにて市内の体育施設、有料公園施設(ふれあいの森総合グラウンドを除く)、学校開放施設の予約受付を実施	▽H30年度以降のふれあいの森総合公園の一元管理への追加について協議	▽H30年8月利用分より、ふれあいの森総合公園の利用受付をインターネットにて実施	▽宗像市スポーツ協会にて利用受付の一元管理	
(3) 学校開放施設の拡大(平日の日中開放)							
①調査研究	未着手	▽南郷小学校において日中の学校開放について校長と協議	▽南郷小学校において日中の学校開放について継続協議 ・総合型地域スポーツクラブ南の郷クラブ事業にて使用	協議の結果、課題が多く未実施			
②拡大実施	未着手	未着手	未着手	▽中学校の卓球場や武道場の開放について検討			▽利用者ニーズと学校開放の利用状況を含め検討
③玄海B&G海洋センターの存続(暫定)	未着手	▽総合スポーツセンター計画変更に伴い、開館継続	▽次年度以降の外壁の保全改修などの着手に向けて現状把握	▽次年度外壁の保全改修などの着手に向けて継続調査			▽外壁の保全改修及び照明のLED化の次年度以降の着手に向け、設計を実施。また、財団への助成金申請を実施予定
(4) 高校・大学のスポーツ施設の活用							
		▽東海大学福岡短期大学のグラウンドを市民に開放しているが、日赤看護大学や福岡教育大学などの施設開放について調査検討	▽モデル的に東海大学福岡短期大学の体育館を南の郷クラブバドミントン育成教室にて使用。 ▽チャレンジMUNAKATAにて、宗像高校の体育館を使用	▽バドミントン育成教室に関しては東海大学福岡短期大学の体育館を継続使用 ▽その他、各学校との連携を検討	▽バドミントン育成教室に関しては東海大学福岡高校の体育館を継続使用 ▽チャレンジMUNAKATAにて、宗像高校の体育館を使用	▽東海大学福岡高校の体育館を継続使用	
(5) 近隣市町のスポーツ施設の相互利用							
		▽福津市関係部署と協議	未着手	未着手	未着手	未着手	
8 中核拠点となる施設の再構築と整備							
(1) 総合スポーツセンター(仮称)の整備							
		▽9月:議会で出された「総合スポーツセンター整備事業調査特別委員会」からの調査結果の報告(提言)を受け、財源を基軸とした抜本的な見直しを行う。 ▽11月:議会全員協議会にて計画の実施は将来に送ることを報告 ▽12月:12月1日号の市広報紙にて市民に周知を行う。 ※ただし、スポーツ推進計画に掲げる各種施策の推進に支障をきたすことのないよう、総合スポーツセンター整備計画が具現化するまでの間は、既存市民体育館を中核拠点施設として暫定的に位置づけ、スポーツ・サポートセンター機能の付加など必要最低限の施設整備を実施していくこととする					
(2) 野球場の整備							
		▽市運動広場(野球場)を学校施設から移管し、市民に開放 ▽玄海小学校跡地に整備した市運動広場(多目的広場)を4月にオープンし、少年野球の試合に活用 ▽福津市や宮若市との野球場相互利用について協議を実施	▽宗像中央公園野球場の再整備について検討	▽宗像中央公園野球場、宗像市運動広場野球場及び明天寺公園野球場について、再整備などを検討	▽宗像中央公園野球場、宗像市運動広場野球場及び明天寺公園野球場など屋外施設の整備計画の作成	▽アセットマネジメント計画を踏まえ整備計画を作成	
(3) サッカー等の球技場及び陸上競技場							
①民間スポーツ施設の活用	未着手	未着手	未着手	未着手	未着手	▽市内施設状況の調査実施予定	
②民間スポーツ施設整備費補助制度の創設	未着手	未着手	未着手	未着手	未着手	未着手	
(4) ふれあいの森総合公園及びその他有料スポーツ公園							
	未着手	▽ふれあいの森総合公園の所管移管について関係部局と協議	▽ふれあいの森総合公園の所管を文化スポーツ課に移管 ▽公園利用者の利便性向上のため駐車場増設、グラウンドの土壌改良及びシェルターの建築等を実施	▽ふれあいの森総合公園を指定管理者による管理 ▽そのた有料公園を含め利用者受付については8月より一元管理	▽ふれあいの森総合公園を指定管理者による管理 ▽そのた有料公園を含め利用者受付については一元管理		
(5) 宗像ユリックスのスポーツ施設							
		▽アクアドーム天井調査実施	▽保全改修計画に基づき実施	▽次年度以降の改修に向け一部設計等に着手	▽保全改修計画に基づき設計などを実施	▽保全改修計画に基づき設計などを実施	